

はじめに

今月は就活イベントや休暇が重なり、イリノイ大学にいたのは半月だけでした。幸いにも中間試験や口頭発表課題などは全て受けられたため問題ありませんでしたが、いつのまにか11月が終わってしまったという感覚です。秋学期は12月半ばで終わるため、大学内では期末試験に向けて勉強している人をいたるところで見かけます。本報告書では授業内容に加え、Thanksgiving と Boston Career Forum について述べていきます。

ESL110 English Pronunciation for Academic Purposes

この授業では2回目の口頭発表がありました。身の回りにある、最近のイノベーションを説明するという内容で、スライドを使つての5分程度の発表です。私は「静電容量方式によるタッチパネルの利点」をテーマにしました。辞書を使つてスライドおよび原稿を作成しましたが、重要な語句にあてはまる英単語の選択が悪く、聞き手が混乱してしまったようでした。意味としてはあつても、実際に浸透している単語かどうかはネイティブスピーカーに確認してもらわないと分からないことを実感しました。発音については、複合名詞におけるストレスの位置や、ダーク L、ライト L の区別を注意されたので、口と舌の動きを意識しつつ、大げさな発声を心掛けています。

CMN101 Public Speaking

11月末に4回目の口頭発表がありました。こちらは金銭面で社会的に問題となっている事案が題材となっており、私は日本の年金問題に関する発表を行いました。原稿を作つて練習したおかげで前半は比較的スムーズに話せていたのですが、後半は言い直しやポーズが増えてしまい、きちんと伝えられなかったことが残念です。本来ならば発表時にはメモなどでキーワードだけを押さえておき、そこから話を展開して話すのが理想ですが、まだその段階には遠く及ばないのが現状です。ただ、発表時間を意識して、発表中に情報の取捨選択をして時間内に収められたのは良かった点かと思えます。

ASTR100 Introduction to Astronomy

今月は超新星爆発やパルサー、ブラックホール、宇宙の膨張に関する内容を学んでいます。この範囲では、特殊相対性理論と一般相対性理論がからんでくるため、小テストなどの問題を解くのに少々苦勞しています。たとえば、光は光源の速度によらず常に同じ速度で飛び続けること、同時性の相対性、時間の伸びなどを調べてみましたが、なぜそうなるのかを理解することが難しく、すっきりしない状態です。春学期の物理学の授業の一つに、特殊相対性理論を扱う授業があるため、それを受けてみようと思っています。

PHYS140 How Things Work

3回目の中間試験がありました。結果は前回と同じく8割ちよつとで、決して良いとは言えない点数でした。試験内容は電磁誘導や変圧器、電荷に関する基本的なものだったので、語彙力がまだ十分でないことを痛感しています。ところで、この授業の面白いところはテスト問題の内容です。単純な計算問題や理論問題ではなく、日常生活にからめた文章問題となっており、頭をひねる必要があります。現在の授業では、ラジオ波や電磁波を扱っているのですが、スプーンを挿したままのコーヒーカップを電子レンジに入れたら、コーヒーはどうなるか? という問題や、CD と金属塊を並べて電子レンジに入れたらどうなるか? という問題が出題されます。

Thanksgiving

Thanksgiving は収穫感謝祭のことで、11月の第4木曜日に家族や知人と一緒にターキーを食べる伝統的な日です。Thanksgiving を含む1週間の期間、イリノイ大学や学生寮および周辺の飲食店は休みになってしまうため、多くの学生は実家に帰っているようです。ちなみに市内を走るバスすらも木曜日は休みになります。私は部活の友人に誘われて、Chicago の自宅に丸々1週間お世話になっていました。その間、ダウントウン周辺の美術館や映画館に行き、友人らと共に観光や遊びを満喫したほか、家ではおいしい料理をご馳走して頂きました。友人の祖母がポーランド出身とのことで、常に英語とポーリッシュが飛び交っていたのは面白かったです。友人はスペイン語も学んでいるらしく、様々な国籍の人が集まるアメリカにおいては、多言語を話すことは特別なことでも何でもないのかなと感じました。感謝祭当日は、15人ほどの親族や友人が一つの家に集まり、持ち寄った料理をテーブルに並べて、近況報告などをして談笑しながら食事をとりました。皆さん、英語が不得手な私にも優しく接してくださり、話の輪に入れていたと思います。自分の考えや気持ちを伝えられることの楽しさを、改めて感じることでできた週でした。



図 ターキーの解体作業



図 持ち寄った料理

Boston Career Forum 2016

外資系、日系企業が多数集まるアメリカの日本人向け就活イベントに参加してきました。結論から言うと、残念ながら内々定は獲得できませんでした。それでも、就職活動を経験したことのない私には、技術者面接や役員面接を体験できたことは良かったです。研究内容の原理的な部分や、今後の展望および具体的な解決策を予想以上に詳しく聞かれたこと、そしてそれらを口頭で明確に説明することの難しさを実感しました。

応募条件に関して、ビジネスレベル(TOEIC800点ほど)の英語力が求められる企業が大半でしたが、書類に会話レベルと記入しても書類通過する企業は結構多いです。外資系や超大手以外であればあまり気にしなくても良いかと思います。また、ネットでの事前応募をしていなくても、イベント当日に履歴書を企業ブースに提出する Walk-in というシステムもあり、説明会を聞いてから応募することも可能です。ただし、交換留学生を選考対象外とする企業や、帰国時期の関係(就活解禁より帰国が早い)で応募不可の企業が多く、私が履歴書を提出できたのは5社だけでした。企業に拘りがなければそうでもないですが、行きたい企業が決まっているのであれば、日本で就活する方がいいかもしれません。応募条件や要項などの詳細は年によって変わりますが、今後留学を考えている学生の参考になれば幸いです。

Boston Career Forum は3日間開催されますが、初日と2日目が面接の主な実施日で、最終日は参加しない学生も多いです。私も最終日はボストン観光で1日を過ごしました。



図 Bunker Hill から見た Boston の街並み



図 Massachusetts Institute of Technology

おわりに

秋学期の授業はあと半月足らずという事実に驚いています。つい先日履修申請をしたばかりという気がするのに、不思議なものです。そして、いよいよ冬がやってきたのか、11月の半ばから急に寒くなりました。まだ雪は降っていませんが、例年であればそろそろ雪が降り始めるとのことです。日本で使っていたコートを友人に見せたところ、これではイリノイの冬は越せないと言われてしまい、新しく購入するはめになりました。体調に気を付けながら、期末試験に向けて頑張っていきます。

11月分の報告は以上です。